温泉飲食店組合温泉街を清掃 きれいなまちでおもてなし

観光シーズンを目前に控え洞爺湖温泉飲食店組合（横山節子組合長）では、４月19日温泉街全域の清掃活動を行い、ここちよい汗を流しました。

温泉誕生100年事業の一環として、同組合単独では2年ぶりの取り組みで、組合員ら約60人が参加。

壮瞥町の温泉側から月浦方面まで、各グループに分かれて、ゴミ袋を手に、たばこの吸い殻やペットボトル、空き缶、枯れ木などを拾い、40 のゴミ袋25個分のゴミが回収されました。横山組合長は「温泉街のまとまりで、再び温泉に活気を取り戻したい」と温泉の活性化に期待していました。

温泉街をくまなく回りゴミを回収する組合員ら

洞爺湖スポーツクラブ設立総会 世代を超えてスポーツで交流

世代を超えてスポーツで交流することを目的にした「洞爺湖スポーツクラブ」の設立総会が、４月23日役場防災研修ホールで開かれ、約20人が参加して、規約や役員・組織体制、今年度の活動方針などを論議しました。

抽選会で野球観戦のチケットが当たり大喜びする児童

同クラブは、平成20年に総合型地域スポーツクラブの設立に向け準備委員会を結成し、２年間の準備期間をおいて正式な設立を迎えました。

総会では、同クラブの青木佐智子代表が「いろんな人と交流をはかり、よりよいスポーツクラブにしていきたい」と挨拶。総会後は、豪華景品が当たる抽選会で盛り上がりました。

同クラブの結成最初の取組み、日本ハム－阪神戦観戦チケットに余裕がありますので、関心のある方は、5月20日まで事務局へ（加藤☎76-4174）。

100年事業で洞爺湖桜杯サッカー大会 全道各地から少年サッカーチーム参加

洞爺湖温泉100年記念洞爺湖桜杯少年少女サッカー大会（主催クラッキ・同100年記念事業委員会など）が、４月24日、25日２日間、財田グラウンド（11歳以下のU－11）と温泉小学校グラウンド（10歳以下のU－10）で開かれました。

はつらつとしたプレーを繰り広げるチビッコJリーガー

当町は雪解けが道内では早い地域で、芝グラウンドが使えるとあって、札幌、静内、浦河、岩内など全道各地からU－10が16チーム、U－11が10チーム参加。

室内練習が主であったチビッコＪリーガーらは、洞爺湖の澄んだ空気をいっぱい吸い込んで、はつらつとしたプレーを披露していました。昼休みには、マイムマイムのダンスが行われ、覚えのあるお母さんらも輪に入り、子供らといっしょに楽しんでいました。

サミット記念の森植樹のつどい 森づくりで地球温暖化防止へ

４月24日「サミット記念の森」植樹の集い（主催北海道）が開かれ、地元住民のほか、札幌市などから約100人が参加しました。同記念の森は、2008年のサミット開催を記念して、翌年地球温暖化防止を目的に作られ、３年間で1,500本植樹する計画で今年はその2年目にあたります。

地球温暖化防止を願い植樹するサミット記念の森

石橋秀規胆振総合振興局長から「森林の重要性を再認識し、緑づくりに協力していただきたい」との挨拶があり、真屋町長は「自然とふれ合うことのできる場として、整備を進めていきたい」と同記念の森の活用についてあいさつ。

石橋振興局長らがクリーンラーチを記念植樹した後、参加者一人ひとりが、同記念の森にトドマツ、カラマツ、シラカバ、クリーンラーチの苗木480本を植樹しました。